

PDCAチェックシート

実施年度	令和 7 年度		
事務事業名	国民健康保険の保険給付費支給申請の簡素化事業		
担当課名	長寿保健課		
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 国民健康保険の保険給付費の支給申請について、被保険者が容易に支給申請可能な仕組みを創ることで、保険事業の健全な運営を確保する。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 高額療養費支給事務簡素化 200件 【達成値(R7実績値)】 高額療養費支給事務簡素化 832件	■具体的取組 高額療養費支給事務の簡素化(一度申請することで、自動的に償還する運用)を実施し、継続支給の被保険者の毎月の申請書の届出手続きを不要にすることで、被保険者の手続きの利便性を高め、更には担当職員の支給事務の時間短縮も実現させた。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 国保連合会のシステムを利用し、全市町で一体的に費用負担しているため、市単独での改修費用なし。 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 高額療養費簡素化支給実績 1,802件 年12回(1月に1回)の簡素化による支給を実施。外来年間合算は年1回実施。 支給担当事務時間短縮 年間252時間20分 (252時間20分/7時間45分＝約32日短縮)	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 高額療養費支給事務の簡素化(一度申請することで、自動的に償還する運用)により、高額療養費(外来年間合算含む)は、1,802件の支給を行い、被保険者の支給手続きの利便性を高めた。 また、支給担当の事務時間を年252時間20分(約32日)削減し、人件費の節約に繋げた。	■検証結果を受けての具体的対応 高額療養費支給事務の簡素化については、今後も被保険者へ継続して簡素化を勧めていく。 令和8年度以降、国の標準化の運用となったため、引き続き、高額療養費以外のその他の保険給付費の支給申請についても、被保険者が容易に申請可能であり、支給事務効率も高められる仕組みを検討する。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。